



庄農通信

校訓 **行学一如** (ぎょうがくいちによ)

令和3年度 第7号
**山形県立庄内
農業高等学校**

〒999-7601 山形県鶴岡市
藤島字古楯跡221番地
TEL 0235 (64) 2151
<http://www.shonai-ah.ed.jp>
令和3年12月10日(金)発行
文責 加藤 千恵

<行事予定>

<12月>

8日(水) 2年修学旅行
9日(木)
10日(金) 県農ク
プロジェクト発表会

11日(土)
12日(日)
13日(月) 2年代休
14日(火)
15日(水) 全校一斉
新聞読もうの日

16日(木) 1年進路体験講座
3年性教育講話
17日(金) SC相談
1,2年保護者進路研修会

18日(土)
19日(日)
20日(月)
21日(火)
22日(水) スポーツ大会①
23日(木) スポーツ大会②
24日(金) 終業式
2,3年進路情報交換会
25日(土) 冬季休業
(~1/6)

26日(日)
27日(月) 生徒会リーダー
研修会
28日(火)
29日(水) 閉庁
30日(木) 閉庁
31日(金) 閉庁

<1月>

1日(水) 元日 閉庁
2日(木) 閉庁
3日(金) 閉庁
7日(金) 始業式
課題・基礎力テスト

11/12(金)~/13(土) 笑顔はじける!

全校生徒の力が結集! 庄農祭

「助け愛♡農の花を咲かせよう~届け!! 120周年の思い~」



最優秀 3年A組のパフォーマンス

令和3年度庄農祭が、11月12日(金)~13日(土)に開催されました。

今年のテーマは「助け愛♡農の花を咲かせよう~届け!! 120周年の思い~」です。

今年度も地域の方や保護者の皆様をお迎えしない形での開催となりました。農作物や加工品を販売して地域の方々に喜んでいただくことができませんでしたが、生徒たちは、実行委員長の3年海藤麻子さん(藤島中)を中心に、全校生徒が参加して楽しめる新しい企画を考え、準備を進めてきました。

開祭式では実行委員渾身のPVをはじめ、各クラス・各企画のPRビデオが流れました。それだけでも見応えのある出来です。

毎年恒例の目玉企画であるクラスパフォーマンスでは、例年よりも発

表時間も長く設定され、各クラスで創意・工夫したすばらしいパフォーマンスが繰り広げられました。その中でも3年A組が楽しく元気なクラスの個性をうまく表現し、最優秀に輝きました。結果は次の通りです。

最優秀 3年A組「増子children」
優秀 3年B組
「これがうちの精一杯♡」
優良 2年A組「Smiley」
審査員特別賞 2年B組
「成澤組~沼澤を添えて~」
各クラスの熱演



文化部・有志発表を全校生徒で聴きました。展示された作品も力作ぞろいでした。



音楽部発表

有志発表

庄農祭 今年の新企画! 実行委員を中心に工夫を凝らして かかしコンテスト&スタンプラリー

今年は、コモンホールに各クラスが制作したかかしが飾られ、「かかしコンテスト」が行われました。全校生徒・職員の投票の結果、みごと一位に輝いたのは、3年A組の「Big Buddha」でした。

「いつも僕たちを優しく、厳しく見守ってくれる3Aのお母さんの存在、増子先生をモチーフとして作りました。」とのことでした。

また、スタンプラリーでは、校内に設置されたチェックポイントを回り、クイズを解きながらゴールを目指しました。全校生徒が参加してみんなで楽しみました。



優勝は「チョレギサラダ」の皆さん

音楽室でのクイズは「音階作り」



仮装コンテスト

先輩からのメッセージ⑤

第5回は、新規就農した先輩を紹介します。今夏の中学生一日体験入学に参加いただいた保護者の方々に向けて先輩がお話くださった話を載せます。

菅原 義弘さん
(平成25年度卒) (剣道部)
(三川中出身)

私は現在三川町の押切にて
水稻5.6ha、転作用に委託して
いる大豆が1.4haと合計約7haの面
積で農業をさせて貰ってい
ます。栽培している品種と
しましては つや姫 雪若
丸 ひとめぼれ はえぬきです。

5.6haの内4haを有機栽培米と
して行っています。ご存知と思
われますが、有機栽培
米とは農薬と化学肥料
を使用しないお米で
す。農薬を使用しない
という事は勿論除草剤を使用し
ないという事で、除草について
は田んぼに鴨を一か月程度入れ
る「合鴨農法」というのを行っ
ています。合鴨農法というのは
除草の効果だけではなく稲が小
さい時に付く害虫も食べて
くれるので私の地域での
有機栽培に欠かすことの
できない存在となっています。

農業するまでの経緯としまし
て、高校を卒業してから二年間、
鶴岡の谷定地区、櫛引地区の農
家さんの元で農業研修をさせて
いただきました。その後新規就
農という形で農業を始め今年で
早いもので6年目となります。農
業研修を行う際や、いざ自分で
農業を始める際 旧称 青年就
農給付金 現在の呼び方で農業
次世代人材投資資金というのを
受給して行っていました。この
制度に乗り、たまたま空いてい
た3つ隣の町内会の土地を150a借
りて農業をスタートしました。
いざ農業を始めると、最初は本
当に何も分からなく何をどうし
たら分かりませんでした。周り
の方々に教えてもらいながら一
年また一年と経験を積み重ねて
いき少しずつやる事が分かって
きました。一つ分かるとまた
一つ気になることが増えていき
知れば知るほど疑問が生まれ
てくる農業という職業の
難しさを日々実感しています。

田んぼの水管理一つとっても、

いつ水を入れるか いつ田んぼ
から水を抜くか どれくらい水
を貯めるか 田んぼに水をその
日入れるかどうかでも相当に悩
みます。他にも、肥料を散布す
る量 散布する時期 農薬を使
用している田圃は農薬を散布す
る時期、などなどいろんな方に
聞きながら日々手探りで行っ
ています。稲の為にどうすれば良
くなるか 美味しくなるかなど
を人に聞いたり人と話したり調
べたりするのは非常に楽しいと
感じます。確かに日々の農作業
は大変で作物だって手間暇を
かければ良いというモノでもなく
天候に左右されますが、毎年毎
年が勉強でやりがいがあります。

昨年よりネット販売にも本格
的に取り組み始めてみまして
食べチョコ 厳選米ドットコム
ポケットマルシェ などなどイ
ンターネット販売サイトに出品
してみました。個人販売を行う
と直接お客様から感想を頂ける
ので、美味しいなど喜んだ感想
を頂けると大変励みになります。
これもまたやりがいの一つです。

あくまでも私が在学していた
時の話になりますが、庄内農業
高校の良いところは選択式の授
業で自由に学びたいことが組み
合わせられることと、本
格的な農業の勉強が出来る
という事だと思います。

私は作物という授業を選択し
ていました。そこでは生育調査
のやり方や実際に草刈を使用し
て作業をしてみるという実践的
なことも体験できました。

高校生活、一番思い出に残っ
ていてやってきて本当に良かった
と思うことが部活動で、私は
剣道部に所属していました。練
習は大変でしたが、一つのこと
に本気で打ち込むことができて
お陰で後悔の無い高校生活を送
ることができたと思っています。

また本気で打ち込むことが
できる環境があったのはと
ても幸せなことと思います。

私が2年生になり、春の大会が
終了して私達主体でやっていく
という時、部員が少なくその状
態での練習や試合だったので精
神的にも体力的にも何度もくじ
けそうにはなりましたが、
その経験はとても精神面を
強くしてくれたと感じます。

剣道部ではたくさんの事を学
べ、社会に出てから私の支えに
なっています。庄内農業高
校ではお陰様でとても充実
した日々を過ごすことがで
きたと感じています。

3年生が課題研究の成果を発表

校内プロジェクト発表会

4本の発表が県大会出場へ

11月9日(火)に校内プロジェ
クト発表会が行われました。こ
れは、3年生が課題研究で取り
組んできた活動の内容や成果を
発表するものです。12月10日
に行われる県大会の予選会も兼
ねての発表となりました。

14グループが発表を行い、
審査の結果、「ただちゃ豆を有
効活用したお菓子作り」が最優
秀として選ばれました。また、
優秀発表7本のなかで、「令和
3年度版 庄内産小麦の可能性
を探る～庄内産小麦の活用と普
及・新世代農業地域を目指して
～」と「うめちゃの～。おらだ
ののだちゃ豆スープ」「私たち
の食育活動」が県大会に出場す
ることになりました。

どの発表も何度も試行錯誤を
重ねて成果を出したことが伝わ
るものでした。また、地域と連
携した活動が多かったようです。
県大会に出場する皆さんの活
躍を期待しています。

